

平成30年度宮城県公立高等学校入学者選抜実施方法一覧

学校番号	学校名	学科 (コース・部)	募集定員 (人)	前期選抜																			後期選抜				第2志望とすることができる学科	備考				
				募集割合	募集人数 (人)	「出願できる条件」 前期選抜における各高校の出願資格です。	調査書	配点													募集人数 (人) 予定	選抜資料			調査書	学力検査						
								学力検査				学校独自検査										合計	第1段階の割合	傾斜配点					面接・実技			
								国語	数学	英語	小計	配点	時間	形式	配点	時間	形式	配点	時間	形式				小計					合計	教科	倍率	面接
38	黒川	普通科	80	30%	24	次の1~2のすべての条件に該当していることを自己アピールでき、さらに3の(1)又は(2)のいずれかの条件を満たしている生徒 1 基本的な生活習慣が身に付いている生徒 2 将来について大学進学等の明確な目標を持ち、高校入学後も学習活動に意欲的に取り組み努力する生徒 3 次の(1)又は(2)のいずれかを満たしている生徒 (1) 中学校1~3年生の5教科(国語、社会、数学、理科、英語)の評定平均値が3.4以上の生徒【調査書】 (2) 中学校1~3年生の5教科(国語、社会、数学、理科、英語)の評定平均値が3.2以上【調査書】の生徒で、次の①~④のいずれか1つ以上を満たしている生徒 ① 運動部の中総体・新人大会において、県大会以上に選手としてエントリーされた生徒【調査書】 ② 文化部の大会やコンクールにおいて、県大会以上に出場した生徒【調査書】 ③ スポーツに関する校外活動において、県大会以上に選手としてエントリーされた生徒【添付書類又は調査書】 ④ 下記の資格検定のいずれかを有している生徒【添付書類又は調査書】 英検 3級以上、漢検 3級以上 ◆3は「資格確認の対象とする条件」である	225	50	50	50	150											75	450	約70%	56				5	5	機械科 電子工学科 環境技術科	
38	黒川	機械科	80	40%	32	次の1~2のすべての条件に該当していることを自己アピールでき、さらに3の(1)又は(2)のいずれかの条件を満たしている生徒 1 基本的な生活習慣が身に付いている生徒 2 機械系の工業分野、特に機械を設計し部品を加工する「ものづくり」に興味関心を持ち、高校入学後も専門知識や技術・技能を修得し、専門分野への就職や大学等への進学を目指す生徒 3 次の(1)又は(2)のいずれかを満たしている生徒 (1) 中学校1~3年生の全教科の評定平均値が3.1以上の生徒【調査書】 (2) 中学校1~3年生の全教科の評定平均値が2.9以上【調査書】の生徒で、次の①~④のいずれか1つ以上を満たす生徒 ① 運動部の中総体・新人大会において、県大会以上に選手としてエントリーされた生徒【調査書】 ② 文化部の大会やコンクールにおいて、県大会以上に出場した生徒【調査書】 ③ スポーツに関する校外活動において、県大会以上に選手としてエントリーされた生徒【添付書類又は調査書】 ④ 下記の資格検定のいずれか1つ以上を有している生徒【添付書類又は調査書】 英検 3級以上、漢検 3級以上、数学検定 3級以上、総務省 危険物取扱者 丙種以上 ◆3は「資格確認の対象とする条件」である	225	50	50	50	150											75	450	約70%	48				5	5	普通科 電子工学科 環境技術科	
38	黒川	電子工学科	40	40%	16	次の1~2のすべての条件に該当していることを自己アピールでき、さらに3の(1)又は(2)のいずれかの条件を満たしている生徒 1 基本的な生活習慣が身に付いている生徒 2 電子・電気・情報系の工業分野、特に制御基板製作や電気工事などの「ものづくり」とコンピュータに興味関心を持ち、高校入学後も専門知識や技術・技能を習得し、専門分野への就職や大学等への進学を目指す生徒 3 次の(1)又は(2)のいずれかを満たす生徒 (1) 中学校1~3年生の全教科の評定平均値が3.1以上の生徒【調査書】 (2) 中学校1~3年生の全教科の評定平均値が2.9以上【調査書】の生徒で、次の①~④のいずれか1つ以上を満たす生徒 ① 運動部の中総体・新人大会において、県大会以上に選手としてエントリーされた生徒【調査書】 ② 文化部の大会やコンクールにおいて、県大会以上に出場した生徒【調査書】 ③ スポーツに関する校外活動において、県大会以上に選手としてエントリーされた生徒【添付書類又は調査書】 ④ 下記の資格検定のいずれか1つ以上を有している生徒【添付書類又は調査書】 英検 3級以上、漢検 3級以上、数学検定 3級以上、総務省 危険物取扱者 丙種以上、総務省 第4級アマチュア無線技士以上 ◆3は「資格確認の対象とする条件」である	225	50	50	50	150											75	450	約70%	24				5	5	普通科 機械科 環境技術科	
38	黒川	環境技術科	40	40%	16	次の1~2のすべての条件に該当していることを自己アピールでき、さらに3の(1)又は(2)のいずれかの条件を満たしている生徒 1 基本的な生活習慣が身に付いている生徒 2 環境・土木の工業分野、特に環境に配慮した「ものづくり」に興味関心を持ち、高校入学後も専門知識や技術・技能を修得し、専門分野への就職や大学等への進学を目指す生徒 3 次の(1)又は(2)のいずれかを満たす生徒 (1) 中学校1~3年生の全教科の評定平均値が3.1以上の生徒【調査書】 (2) 中学校1~3年生の全教科の評定平均値が2.9以上【調査書】の生徒で、次の①~④のいずれか1つ以上を満たす生徒 ① 運動部の中総体・新人大会において、県大会以上に選手としてエントリーされた生徒【調査書】 ② 文化部の大会やコンクールにおいて、県大会以上に出場した生徒【調査書】 ③ スポーツに関する校外活動において、県大会以上に選手としてエントリーされた生徒【添付書類又は調査書】 ④ 下記の資格検定のいずれか1つ以上を有している生徒【添付書類又は調査書】 英検 3級以上、漢検 3級以上、数学検定 3級以上、総務省 危険物取扱者 丙種以上、東京商工会議所主催 環境社会検定試験®(eco検定) ◆3は「資格確認の対象とする条件」である	225	50	50	50	150											75	450	約70%	24				5	5	普通科 機械科 電子工学科	